

幼児の心をはぐくむ

「おはなしメリーゴーランド」 活用の手引き

「小さな親切運動の」幼児教育プログラムについて

「小さな親切」運動では、小・中学生を中心とした青少年の健やかな心を育むため、様々な活動に取り組んでいます。

これまで行ってきた各活動の講師や学校からは、幼少からの教育が重要であるという声を多くいただき、また私たちも、より豊かな人間性を育むには、幼児期から親切を考える機会をもってもらいたいと考え、新たに教育プログラムの開発を始めました。

そして、多くの幼稚園・保育園の先生方、幼児教育の専門家にお話をうかがっていくと、共通して次のような声が聞こえてきました。

【教育現場が目指す子どもの姿】

- 自分で考え、行動する子ども
- コミュニケーション能力のある子ども
- 親切心や思いやりのある子ども

【望ましいツール・教材】

- 状況を具体的に示す、絵など視覚に訴えるもの
- 疑似体験をして、自ら考えるようなシミュレーションができるもの
- 日常のカリキュラムに、自然に取り入れられるもの



こうした声を受け、板絵画家の有賀忍氏（江戸川大学客員教授）と共に、幼児教育プログラムを開発、このたび「おはなしメリーゴーランド」が完成しました。

「おはなしメリーゴーランド」とは

特 徴

1. 子どもたちが日常でよく出会う場面をイラストにしています。各場面で、自分ならどう言うかな、どうするかな、を考えてもらいます。
2. 文字がないので、子どもの反応を受けながらお話を作っていくこともできます。
3. 4枚のイラストからなるショートストーリー。1話が短いので、空いた時間に取り組んでいただけます。

キャラクター

はなのほらハナ

「自分のことより誰かの
ため」よく気がつき、思
いやりあふれる子。
でも、ちょっと抜けてい
るところもある。



アカチン

好奇心旺盛な恐竜の赤ちゃん。
ハナちゃんが好きでいつも
一緒にいる。
ハナちゃんをフォローする、
しっかり者の一面も。



©SHINOBU ARIGA

おはなし

- ◆ **自己紹介編** 「はじめまして。ハナちゃんです！」
あいさつを楽しみながら覚えます。
- ◆ **砂場編** 「さがして あげるよ」
困っている友達に寄り添う心を育みます。
- ◆ **ケーキ編** 「いっしょに 食べよう」
食事のマナーを学び、楽しさを伝えます。

【ケーキ編のイラスト】



©SHINOBU ARIGA

監修・イラスト：有賀 忍（ありが・しのぶ）
板絵画家 / 江戸川大学こどもコミュニケーション学科客員教授
代表作 NHKアニメ『こんなこいるかな』



おはなしを身近に感じてもらうためには、子どもたちが共感できる分身のような存在が必要だと思い、ハナちゃんたちが誕生しました。

「おはなしメリーゴーランド」は、枚数が少なく、文字もありませんから、間を子どもたちが自由に想像できます。子どもたちの豊かな心を育むためには、子どもたち自身が自由に想像し、楽しむことが大切。ぜひ、自分たちだけのおはなしを作って、子どもたちと一緒に楽しみながら使ってください。

教材の作り方

- ① 「てらこあん」からイラストをダウンロード
- ② 厚手の紙※1に、カラーで印刷※2
- ③ 余白部分をカッターで切り離す
- ④ イラストを内側にして、ふたつ折りにする
- ⑤ イラスト裏面にのりを付け、背中合わせに貼りあわせる
- ⑥ 4枚すべて貼りあわせたら、3辺を整えるようにカッターで裁断する

完成！



※1 画用紙でいうと中厚口くらい。厚手の紙の方が持ちやすく、何度使用してもくたびれません
※2 イラストはA4サイズですが、対象人数に合わせて拡大して印刷することもできます

実演して
みましょう

1. おはなしを決めたら、おおよそのストーリーを考えます。進行用台本をダウンロードしてもOK。
2. 場面ごとに、「こんな時、みんなだったらどうするかな？」などと問いかけ、子どもの気持ちを聞いてみます。
3. 子どもたちの反応を受け、対話しながら、枠にとらわれずに進めていきましょう。

実演のPOINT

- 口上は次のイラストを想像させるように。子どもからの発言を引き出すように進行します。
- 応答はそのときどきで変わってOK！ 台本から離れてどんどんアドリブを入れてくださいね。
- くるくる回る特徴を活かして、途中で逆回りに進めたり、最初に戻ってみてもいいですよ。

アレンジ自由

- 大人数を対象に実演する場合は、大きいサイズで作成してみましょう。後ろの子どもたちにもはっきりよく見えます。
- くるくる回る教材を離れてもOK。ハナちゃんたちをお面にして、劇風にお話を進めると、その臨場感で子どもたちの反応も変わります！

イラストダウンロード、作り方動画、進行用台本はWEBサイトへ



導入用ツールもご用意しました

よく歌われる「こぶたぬきつねこ」、手遊びやじゃんけんゲームに使えるイラストをご用意。教材と同じようにイラストを貼りあわせ、くるくる回して使えます。おはなしの前に集中させたいとき、少し空いた時間などにぜひご活用ください！



詳しくは WEBサイト



へ！

イラストや台本を
ダウンロード

作り方を動画で分かりやすく

ハナちゃんの
4コマ漫画も

「おはメリ」の
進行アレンジを紹介

実演された先生方の声

などなど…

<https://www.kindness.jp/kids/>

公益社団法人「小さな親切」運動本部

東京大学の茅誠司総長(当時)が卒業生に贈った言葉をきっかけに、1963年、人と人をつなぐ思いやりの心を育もうと「小さな親切」運動はスタートしました。以来、心を育てる各種実践活動に取り組みながら、日本中に親切を広げようと半世紀を超えて運動を推進しています。

代表 ● 鈴木恒夫 (6代目・元文部科学大臣)
地域組織 ● 33道府県本部・138市町村支部
※地域の運動を推進しています。

スローガン ● 「できる親切はみんなでしょう、
それが社会の習慣となるように」
会員 ● 約17 万名

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町2-20-4
TEL.03-3263-2866 FAX.03-3263-3838 <https://www.kindness.jp/>

2019年12月発行